



2024
議会だより

よしか

第70号

令和6年4月25日

ぼくたち、わたしたち、 ドッキドキドン いちねんせい!



▶ 第1回定例会・ 「よしか病院」関連の主な予算	2	▶ 議会へのご意見	7～8
▶ 主な新規事業・継続事業	3	▶ 一般質問	9～12
▶ 主な質疑・討論	4	▶ 発議・委員会報告	12
▶ 臨時会・全員協議会	5	▶ 委員会報告・議会報告会	13
▶ 議案の議決結果表	6	▶ 研修・現地調査等・編集後記	14

第1回定例会 《3月4日～19日の16日間》

令和5年度予算（第1回臨時会、第2回臨時会を含む）

一般会計補正予算	△ 4,014 万円
一般会計予算総額	82 億 4,748 万円(8.4%増)

令和6年度予算

一般会計当初予算	77 億 8,366 万円(2.2%増)
一般会計補正予算	45 万円
一般会計予算総額	77 億 8,411 万円

(いずれも可決)

「よしか病院」「よしか介護医療院」の主な予算

事業収入（医業収益、介護収益）	8 億 8,464 万円
事業経費	11 億 1,707 万円
収 支	△2 億 3,243 万円

※よしか病院、及びよしか介護医療院は、運営によって見込まれる不足分を、一般会計からの繰出金、交付金で負担します。

一般会計からの負担の内訳

病院事業会計繰出金（よしか病院）	2 億 134 万円
指定管理者交付金（よしか介護医療院）	3,109 万円
（病院事業会計繰出金の内、1 億 4,513 万円は特別交付税が交付されます）	

《その他関連する予算》

医療介護従事者住宅改修工事	4,752 万円
医療機器等整備計画策定、企業会計支援	1,939 万円
看護職員確保修学資金	492 万円
医療技術者等修学資金	210 万円

主な新規事業

地域福祉基金積立金	1,317万円
システム開発設計委託料（自治体システム標準化対応業務）	6,344万円
地区集会所バリアフリー化改修費補助金	100万円
小学校遊具修繕	191万円
高齢者補聴器購入助成事業	37万円
とびのこ苑介護施設向けベッド購入	579万円
改修工事費（七日市・柿木村デイサービス）	335万円
かきのき保育所整備事業費	487万円
柳原団地・新横立団地改修工事費	8,258万円
七日市公衆トイレ改修工事	462万円
JAしまねカントリーエレベーター改修事業費	3,358万円
久保田排水路改良工事測量設計	713万円
スクールバス購入費（2号車）	1,272万円
七日市共同調理場改修費	50万円

主な継続事業

町づくり基金積立金（子育て支援事業）	2,001万円
吉賀高校通学費補助金	572万円
柿木地区5自治会館指定管理料	92万円
老人クラブ補助金	126万円
手話通訳者設置事業	120万円
高齢者サロン事業	400万円
带状疱疹ワクチン予防接種費助成	120万円
地域おこし協力隊報酬森師6名分	1,394万円
プレミアム商品券発行事業補助	781万円
よしか・夢・花マラソン補助金	180万円

同意12件・44議案全て可決

よしか病院の公設民営化による地域医療の確保や、県内初となる太陽光発電事業の条例制定。有機農業や林業振興など積極的な姿勢がおおむね評価されて、昨年の3月議会とは少し違う令和6年度のスタートとなりました。

定例議会での主な質疑と討論

太陽光発電事業の条例

【藤升議員】

説明会に出席した人の名簿を町長に提出することが必要なのか。

【税務住民課長】

人数の把握が主な目的である。氏名のみ記入なので個人情報にはならないと考えている。

反対討論

【藤升議員】

太陽光発電に反対するものではないが、条例は誰が見ても分かりやすいものでなければならぬ。もう一度整理する必要がある。

自治会館の管理者の指定

【大庭議員】

集会所を自治会館と同じ扱いにするために、拠点集会所の提案が示されている。拠点集会所に認定されれば自治会館とまったく同等の扱いになるのか。

【企画課長】

指定管理料を支払うことになる。

反対討論

【桜下議員】

5年前の管理者選定の条件とまったく変わっていない。集会所と自治会館

の管理の条件を同じにするべきである。

介護保険条例の一部改正

反対討論

【藤升議員】

収入に対する割合が収入の少ない人ほど高いという矛盾を、解消しなければならぬ。

小水力発電事業

【庭田議員】

売電料でまかなっている学校給食の完全無償化は、買取価格制度が終了した後も継続するのか。

【町長】

少子化対策・子育て支援としても有効な施策と考える。様々な努力をしながら続けていきたい。

臨時会での主な質疑

石州会からカタクリ会への経営

移行により、夜間救急の受け入れが行われなくなったことへの住民の不安に、質疑が集中しました。

【河村隆行議員】

夜間救急に関しては、益田日赤や広域消防など関係機関との協議は十分に行われているのか。また、医師の確保など体制を整えば夜間救急の申請は再

度するのか。

【医療対策課長】

十分に協議し理解をいただいていると考えている。

【町長】

元に戻す努力は、続けていきたい。

全員協議会での主な質疑

オーガニックビレッジの実現に向けた取り組みや、林業包括企業対事業など、16の議題が提出されて質疑が行われました。

【三浦議員】

「オーガニックビレッジ宣言」は、かけ声だけではなく有機農業でも生活できる支援をしっかりとしていくべきである。

【産業課長】

経営として、自立できる農家の育成に取り組んでいく。

【中田議員】

林業で生活できるように、町内で仕事を作らないと新しい制度を作るばかりでは人は育たない。

【産業課長補佐】

木工や製材等も含めて複合的な林業経営をめざしていく。

臨時会・全員協議会

▶ 第1回臨時会 (2月15日)

▶ 第2回臨時会 (2月26日)

吉賀町介護医療院関連等を含む、計12件

▶ 全員協議会 (2月15日)

太陽光発電事業ほか2件

深掘り **太陽光発電**

ガイドラインでの事業者指導には、限界があることや、全国的に設備のトラブル事案の増加傾向にあることにより地域と調和した太陽光発電事業を促進するための条例の制定です。

- * 事前協議、標識の設置
- * 同意、発電事業の許可
- * 許可の取り消し
- * 公表、国または県への通知
- * 太陽光発電設備の廃棄等費用積立制度
- * 説明会の実施
- * 変更の許可等、事業の廃止
- * 助言、指導及び改善命令、勧告
- * 委任

以上の項目についてそれぞれに取り決めています。

▶ 全員協議会 (2月26日)

吉賀町手話言語条例

手話は、手や指、体の動き、表情を使って視覚的に表現する言語です。

地域活性化起業人 (企業人材派遣制度)

三大都市圏に所在する民間企業等の社員を一定期間受け入れ、そのノウハウや知見を生かしながら地域独自の魅力や価値の向上をめざすものです。

(国の特別交付税処置が受けられる)

吉賀町部活動検討委員会設置条例

町立中学校の部活動の地域移行、活動数の適正化、今後のあり方、課題について協議・検討するためです。

▶ 全員協議会 (3月12日)

吉賀町よしか病院等第三者調査委員会条例の制定

『議決結果表』

(議長は、可否同数の場合を除き採決に加わらない)

※「全員賛成で可決した議案」は省略し、「賛成多数で可決した議案」のみ掲載しています。

【賛成多数で可決した議案】

○：賛成 ●：反対

	議案番号	件名	桜下	村上	三浦	桑原	河村 魚	松蔭	河村 隆	大庭	藤升	中田	庭田	
臨時 第1回	議案 第3号	吉賀町病院事業の設置等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	
第 1 回 定 例 会	同 第10号	農業委員会委員の任命(第1号~9号、11号、12号は全員賛成により可決です)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	
	議案 第11号	吉賀町地区集会所の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	
	議案 第12号	吉賀町自治会館の指定管理者の指定	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	
	議案 第19号	請負契約の締結(令和5年度町道栃木線栃木橋補修工事)	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	
	議案 第22号	吉賀町長等の給与の特例に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
	議案 第23号	吉賀町太陽光発電事業と地域との調和に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
	議案 第39号	吉賀町介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
	議案 第49号	令和6年度吉賀町介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
	議案 第51号	令和6年度吉賀町一般会計予算	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○
	発 第1号	議案 訪問介護基本報酬の引下げを撤回し引上げを求める意見書(案)	●	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	●

次のことにご注意いただき、ご意見等をお寄せください。

- ◇議会・町政以外のことについてのご意見等をご遠慮ください。
- ◇ご住所、お名前の記載がない場合は、回答はいたしません。
- ◇いただいたご意見等を、匿名で「議会だより」や町のホームページに掲載することがあります。
- ◇簡潔な内容をお願いします。



折ってください

切り取り

回答を希望される方はご住所、お名前を記入してください。

(個人情報保護により、記載されたご住所、お名前等は他の目的には使用しません。)

ご住所 〒

お名前

男・女 (歳代)

件名

Form area with horizontal dashed lines for writing.

折ってください

切り取り

夜間救急受け入れ中止の復活は



桜下 善博

質問

よしか病院では、医師・看護師不足や、医師の働き方改革が令和6年4月より開始されることにより、夜間救急受け入れを中止としているが、新病院の住民説明会でも夜間救急復活の意見が多く上がった。

町長は、現状をしっかり理解してほしいと答弁しているが、近隣の病院までの距離を考えると不安である。

「宿日直許可」という申請を労働基準監督署にしておけば、夜間救急受け入れができる制度がある。新病院の運営が軌道にのれば復活を検討するか。

検討していない

町長 夜間救急受け入れ復活の

質問

要望は承知しているが、24時間救急ができる体制は、常勤医師が10名必要で、それに伴い看護師など、医療スタッフが必要である。将来の状況が不明確の中、現段階においての検討は考えていない。

最も重要なのは、町財政を破綻させずに医療介護を継続することである。身の丈にあった適正な運営となるよう指定管理者と連携し対応する。

許可は受けている 当直医療対策課長をした医師については、翌日の診療ができないので宿日直許可は受けていない。しかし、翌日の診療に少なからず影響が出るという判断で、夜間救急は行わない。

有機野菜作りと漬物加工



中田 元

質問

産直協議会から野菜不足と聞き地区民とともに勉強会をした。

①産業課の出席がなかった。どういう考えか。
②今年度より技術指導員を配置とのことだが業務内容は熟知されているのか。
③漬物加工について、6月から食品衛生法が施行されるが、対象者への指導、施設改修補助金制度と利用状況はどうなっているか。

積極的に行う

町長 ①産直協議会から出席要請が無かったと聞いているが、今後積極的な参加を指示する。

②指導員がどういう方かまだ不明である。

質問

町はイクボス宣言をされ、働き方改革を実行している。職員の育児・介護休暇取得状況について伺う。

取得者数は

町長 介護休業は、令和5年度に取得者が1名。育児休業は、令和4年度で対象者が8名で、取得者は7名。男性は対象者7名で、取得は6名。

これからも育児・介護休業が取れるような体制を取っていきたいと考えている。

課の新設を

質問 産業課は、合併以来18年間変わらず今の体制を守ってきた。しかし現在は、循環の輪を創り

出すべく考える。そのためにも農業・林業に特化した農林グループと、商工・観光に特化した商工・観光グループを今すぐにも立ち上げるべきである。

職員の目線で

町長 組織機構・人事管理適正化委員会を中心に、協議を行い検討する。分離していくと、スタッフが少ない中での対応と。職員の目線でしっかり検証してもらう。

働き方改革を



河村 隆行

質問

町はイクボス宣言をされ、働き方改革を実行している。職員の育児・介護休暇取得状況について伺う。

取得者数は

町長 介護休業は、令和5年度に取得者が1名。育児休業は、令和4年度で対象者が8名で、取得者は7名。男性は対象者7名で、取得は6名。

これからも育児・介護休業が取れるような体制を取っていきたいと考えている。

課の新設を

質問 産業課は、合併以来18年間変わらず今の体制を守ってきた。しかし現在は、循環の輪を創り

出すべく考える。そのためにも農業・林業に特化した農林グループと、商工・観光に特化した商工・観光グループを今すぐにも立ち上げるべきである。

職員の目線で

町長 組織機構・人事管理適正化委員会を中心に、協議を行い検討する。分離していくと、スタッフが少ない中での対応と。職員の目線でしっかり検証してもらう。

農業者支援、情勢の変化に対応を



藤 升 正 夫

質問

昨年の議会に、農業を含む町内で事業を営む全業種を対象に、原油価格や物価高騰の負担軽減と事業継続につなげるための支援金の予算が出された。

赤字が続く農業者への応援になると期待していたが、支援の対象を農業収入金額が全体の収入金額の50%以上を占めている者という条件がつけられて、多くの生産者が支援の対象から外された。役場全体が情勢の変化をしっかりと受け止め、赤字を減らし生産を続けようという人を励ます姿勢を町長はなぜ持てないのか。

限られた予算であり理解を

町長

今回は、国が示した交付金の推奨支援事業メニューの事業者支援という観点から、販売農家のうち収入の半分以上が給料等で占める兼業農家ではなく農業による収入が半分以上となる兼業農家を対象とした。

農業経営コストが上がり、生産者の経営に影響を及ぼしているという理解しているが、限られた予算の中で兼業農家全ての方に支援できる十分な制度設計になっていなかったことは、理解していただきたい。



地域公共交通網のあり方



村 上 定 陽

質問

施政方針に公共交通網の活性化及び再生を目指し、公共交通網形成計画の変更・延長、更に令和7年度に吉賀町公共交通計画を策定する

とある。4月より六日市地域循環線の利用において「1時間前予約」の見直しにより通院・買い物等の利便性の向上が見込まれるが、第2次吉賀町まちづくり計画の前期評価・具申の中で防災基盤整備・歩道・買い物利便が低い評価であった。

があるのではないか。

町長

防災に関しては総合防災訓練の開催や自主防災組織の組織率向上を図り地域の防災力の向上を目指している。

歩道の対策については国道・県道の未整備箇所や要望のあった箇所、特に通学路や歩行者の安全確保のために整備が必要になった箇所については、重点的に島根県へ要望している。

質問

町の人口は、今後も減り、ゆ・ら・らの施設も老朽化していく中、益々負担になってくると思う。経営を誰かに委ねて、もつと違う方面に力を注ぐべきである。

無償にしても民間に譲渡すれば、経営もまた違った観点での発想をして、頑張ってくるのではないか。

民間移譲しない

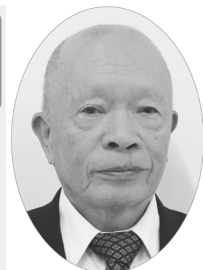
町長

指定管理制度は多様化する住民ニーズに、効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、サービスの向上と経費の縮減を図るため導入されたものである。

民間の発想で経営をしてくれることは、指定管理制度の趣旨から可能であると考えている。現段階でゆ・ら・らに限ったことでは無く、特定の施設について民間移譲する考えはない。



指定管理施設の整理を



大 庭 澄 人

施政方針の検証



河村 由美子

質問

町長は就任から7年目になるが、人口減少に歯止めがかからず、町内の企業、商店も疲弊の一途である。政策を効果的に展開していくのは基礎的自治体であり、地方に課される責任は一層重くなっている。活力ある産業を作り結婚、出産、子育ての希望を叶える女性が集まる企業誘致と合わせ、婚活事業を精力的に行っては。

戦略に基づき、人・仕事・結婚の分野で横断的かつ一体的な取り組みを進め、人口増の政策に精力的に取り組む。

公民館の現状は

質問

町長は公民館を核とした町づくりを公約している。館長は2力所であるが、主事は欠員といった現状である。社会教育、地域づくりに関する館長の勤務形態が半日といった現状にも、問題があるのではないか。

町長

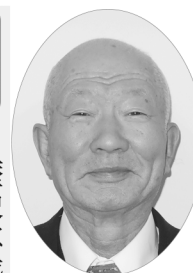
町民に約束した所信が道半ばである。中でも一番大きな事柄は地域医療の存続であり、町民の命と健康を守ることに尽す。将来に向けては総合

議論を進める

町長

地域振興の推進を活発に運営できる処遇など、教育振興の中で丁寧な議論を進めていく。

文化財は町民の宝物



松蔭 茂

質問

歴史は我々に大切な宝物を残してくれた。宝物というのは有形、無形、他の文化財である。先人がつくりあげた

過去を知り、現在に生かし、次の世代に何をすべきかを伝えることが、我々の義務である。その宝物である文化財について聞く。

- ①町指定文化財の数、内訳は。
- ②保存はどのような方法で行っているか。
- ③町民へのPRは
- ④子どもたちへの教育は。
- ⑤まだ発掘するものがあるか。

文化財を大切に

教育長

①有形、無形、民族文化財、記念物等合わせ39ある。

②旧道面家住宅は管理を地元の方をお願いし、老朽化対策は遂次行っている。

③町民へのPRは例年町内文化財の探訪を行っており、バス1台で回っている。

④小中学生への教育は、総合的な学習で、建物や生活用具の移り変わり、地域の伝統文化、歴史遺産等を学んでいる。

⑤発掘調査は、現時点では予定されていない。



町長施政方針から



桑原 三平

質問

多くの事案を踏まえ、これまで以上に町民との対話を重視し、その声に耳を傾けることで、行政との信頼関係を再構築したいとのことだが、住民に対し必要な情報が少ないのではないか。

発信すること的確な声が届いてくるのではないか。

情報不足を認識

町長

基本的・相対的に情報が足りないことを認識している。情報発信は広報紙等紙媒体、ケーブル放送、音声放送やトップ放送、インターネットを活用して活用している。今年度、実証運用期

質問

「自立した人たちによる持続可能な地域」の実現に向け、体制強化を図ってきたとあるが、館長や主事が不在の公民館がある。今後の対応は。

厳しい、難しい

町長

欠員が生じている公民館については、一刻も早く適した人材を配置できるようなりたい。

教育長

六日市、七日市の公民館は、館長を公募中である。

公民館の体制強化を



三浦 浩明

質問

町は公民館を拠点とした地域づくりの推進を掲げて、各公民館に主事2名及び専用車両を配置し、地域づくり・地域活性化に向け独自の取り組みが進められている。

全力で取り組む

公民館長 会でも館長の勤務時間延長の意見も出ているが、予算を伴うことでもあり、館長の考えを聞きながら前向きに検討していく。

教育長

旧蔵木中学校校利活用については、検討委員会において協議が進められ、方針について要望書が提出されることとなっている。建築基準法・予算・補助金の活用を随時検討し全力を挙げて取り組んでいく。

同時に蔵木地区においては旧蔵木中学校の校舎・屋内運動場も5年間使用できず、公民館活動に支障をきたしている。このような状況では地域づくりは到底できない。早急な体

風力発電に反対の姿勢を



庭田 英明

質問

豊かな自然や住民の命、健康を守るためにも、計画されている「西中国ウインドファーム」の風力発電事業計画に、首長として反対の意思を示すべきである。

想いに応えて

町長

町民や、高津川流域の住民の方々の不安が払拭されないまま、時間だけが経過していることを看過するわけにはいかない。源流の町的首長として反対の姿勢を内外に発信する。

安全な食の提供を

質問

給食は未来を担う子どもたちの命と心を育てるとともに、地産地消による産業振興にもつな

質問

豊かな自然や住民の命、健康を守るためにも、計画されている「西中国ウインドファーム」の風力発電事業計画に、首長として反対の意思を示すべきである。

想いに応えて

町長

町民や、高津川流域の住民の方々の不安が払拭されないまま、時間だけが経過していることを看過するわけにはいかない。源流の町的首長として反対の姿勢を内外に発信する。

安全な食の提供を

質問

給食は未来を担う子どもたちの命と心を育てるとともに、地産地消による産業振興にもつな



発議

※議員が提出した議案

【発議第1号】
訪問介護基本報酬の引下げを撤回し引上げを求める意見書(案)
提出者 藤升 正夫

【理由】中山間地域の訪問介護は移動に多くの時間を要することに配慮しない報酬の引下げは、事業者の経営を圧迫し、人材の確保に困難をもたらす、必要な介護サービスの提供ができなくなるため。

◇賛成多数により可決

議員定数等調査特別委員会報告

【期 間】 令和5年8月4日

令和6年3月14日

【調査内容】 郡議長会・岡山県美咲町議会・議会報告会での意見交換を行い、6回の委員会を開催した。

議員定数については、削減との意見は少数で、大半は現状維持との意見であった。

政務活動費については、導入するとの合意には至らなかった。議員報酬に関しては、更に深い議論が必要となった。

【調査結果】町の人口減少は続いているが、本会議での表決結果や常任委員会での審議等、議会活動が正常に遂行できる最少人数として、現行の12名は必要である。

議員定数等調査特別委員会委員長

桜下 善博

総務常任委員会調査報告

件名 指定管理施設の調査について
調査期間 令和5年12月21日～6年3月7日
調査対象 むいかいち温泉ゆ・ら・らはこの湯荘

スポーツ公園
大野原運動交流広場
グラウンドゴルフ場(蔵木・大野原)
指定管理者や利用者からの施設改修等の要望には、必ず回答を行い、文書で回答するなど、信頼関係の向上に努められたい。

経済常任委員会調査報告

件名 森林情報のデジタル化について
調査日 令和6年3月7日
内容 航空レーザ測量とその活用方法

森師が林業従事者として定住するためにも、町内の森林資源を有効に活用する必要がある。航空レーザ測量は必要な事業であり、早期の実施ができるよう努められたい。



議会報告会の様子

議会報告会（5会場共通）

- * 柿木手づくり自治区では、子ども向けの教室を開いている。今後、成人や行政も交えていきたい。
- * 耕作放棄地の増加など農地の再生産が困難な状況が起きている。「オーガニックビレッジ宣言」や「みどりの食料システム戦略」の中、議会側も再生可能な農業の推進に努めてほしい。
- * 有機農業は経済だけでなく、生命維持のための食の生産を行っており健康のためである。ひいては「病院問題」に関係することを議会は理解してほしい。
- * 手作りの加工品（漬物等）が法規制により販売が難しくなる。アンテナショップや道の駅の販売戦略へ大きな影響を及ぼす。議会でも検討してほしい。
- * 津和野街道の協定後も、歴史文化財等貴重な資源の保存に対する活動や予算措置があまりにも低い。
- * 公民館の人員配置について、館長の勤務体制を再検討し主事も館長になれるなど給与体系等の見直しを検討されたい。
- * 防災について、水害・土砂災害等の緊急対応マニュアルが確立されていないので、早急に対応すべきである。また、消防団員の数が減少しており不安である。
- * 災害対応のため、自主防災組織を増やすように議会にも協力していただきたい。
- * バス運行のない地区に対しタクシー券を配布しており、バス運行時間以外でも使用できる状態があり、公平性が保たれていないのでは。
- * 六日市地域循環線の定時運行の広報をしっかりとる必要がある。
- * 町村合併後、旧六日市町と旧柿木村でバス賃体系が未だ違っている。統一するべきである。
- * 議員研修は、その目的や成果が得られる内容や日程であったか。
- * 議会・議員は、行政に対して町民の代弁者になっているのか。
- * 不燃物の取り扱いについて分別や洗浄が不十分であり選別に時間や労力がかかっている。ペットボトルなどは資源ごみとして回収してはどうか。
- たくさんのご意見ありがとうございました。皆様のご意見を真摯に受け止め今後の議会活動に反映してまいります。
- なお、この度全会場でご意見がありました議員定数等については、今後も調査研究をしてまいります。
- 一番多く意見のあった「よしか病院」は3月1日に開業し、更に4月1日には診療科も増えてスタートしました。町民にとってより良い病院になるよう、皆様と共に議会も応援し協力してまいります。

議員研修

1月23日、鹿足郡全議員研修を、柿木ふれあい会館にて行いました。当日は、島根県町村議会議長会の事務局長 清山英晴氏を講師に迎え、「議員定数と議員報酬、及び政務活動費」についての講義を受けました。

全国で議員のなり手不足が問題視される中、各町村でも議員定数の検討をしております。研修では、定数・報酬・政務活動費等を変える事により町議会や町民に与える影響等、現実的な説明もあり、今後の議会運営において大変参考となる内容でした。



現地調査（第1回定例会）

3月1日、カントリーエレベーター（真田）の現地調査を行いました。

長年にわたり農業を支えてきた施設ですが、設備等の老朽化により改修・更新事業が令和8年度までの3年間で行われます。

今後の農業の継続に欠かせない施設で県・津和野町・吉賀町の補助事業です。



吉賀高校アントレ

プレナーシッパ発表会

2月9日、吉賀高校においてアントレプレナーシッパの発表会が行われ、議員も参加しました。各生徒がグループとなり、ブースごとに吉賀町のPRや地域づくりに関する様々なテーマで活発な発表があり、一般客を含め質問や意見交換の場となり充実した発表会でした。

事前説明会では2名のOBも駆け付け、吉賀町を離れ現在の学校生活の状況や吉賀町への想いなどを語り、将来を担う期待感の持てる発表でした。



採決方法を変更しました

昨年の第2回定例会（6月）から運用を始めた議会システムでは、各議員の賛否は壁に設置したモニターに表示されるようになり、採決の結果は一目瞭然となりました。

ぜひ、議会の傍聴にお越し下さい。



編集後記

新年度を迎え、各地域での行事や経済も本格的に稼働していく時と期待するところです。

これまで、3年以上も苦しんできたコロナ感染により、日常生活や経済に与えた影響は多大であったと考えますが、やっと正常な環境を取り戻していきける兆しが見えてきたのではないかと思います。

吉賀町も様々な問題を抱え、町民の皆様には不安感を与えて来たのではないかと推測しますが、4月より「よしか病院」も本稼働し、皆様が安心して住める活力のある「まちづくり」のために活動的な議会を目指します。

三浦 浩明

広報広聴常任委員会

委員長 村上定陽 副委員長 三浦浩明
委員 桜下善博 河村隆行 庭田英明

【今月の表紙】

3月に卒業され、この春から小学生になった、かきのき保育所年長組のみなさんです。笑顔いっぱい、楽しい小学校生活になりますように。

撮影・・・川上泰博さん
(美美工芸)